資料　議 1-2

区自治協議会提案事業　事業評価書

中央区自治協議会　第 2 部会

区　分	内　　容
テーマ・事業名	地域でつくろうささえ愛支援事業 ～赤ちゃんからお年寄りまで～
事業目的・概要	赤ちゃんからお年寄りまでの幅広い世代を対象に、地域の抱える福祉分野の課題を解決する地域内の支えあいづくりを目的とする。 上記目的の達成をかかげる事業を募集し、自治協委員との協働により、その事業の効果を高める。 このほか、区が実施する福祉・協働分野にかかる取り組みについて、助言やサポートを行い、実効性の向上を図る。
事業の実施実績 **（実施回数、参加者数など）**	【提案型による協働事業】 ◇子どもたちに元気を配ろう！プロジェクト 主催者：そらいろ子ども食堂(青陵大学生、新潟県立大学生) 実施日：R2.7.26、7.31、8.22、8.23 活動拠点である白新コミュニティハウスを会場に、子どもたちへ生活の支援、地域を元気づける活動として、食品配布事業を計画し、地域の活性化や、子どもたちの多世代との交流の機会を提供し、コロナ禍での子どもの生活支援を行う。 ◇古町みなと住宅子育て世帯交流会 主催者：古町みなと住宅子育て世帯　　実施日：R3.2.14、2.28、3.14 子育て世帯の交流・情報交換できる場を作り、子育て世帯を中心にコミュニティをつくる。 ◇交流型障がい者アート展～聴く・見る・遊ぶ～　にじいろフェア 主催者：ほほえみの木　　実施予定日：R3.3.27 障がい者と障がい者アートや音楽、スポーツを通じて交流することにより、障がい者福祉の理解の向上及び地域活性化を図る。 【区の取り組みへの支援】 ○「自治会長・町内会長　感謝の集い」 ◇講演会の企画とアンケート作成に対する支援
事業の評価 **（地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など）**	○第２部会は地域コミュニティ協議会の地域団体のほか、福祉分野で活躍する区支えあいしくみづくり会議や、はっぴぃ mama 応援団、新潟青陵大学福祉心理学部といった専門分野に関わる委員らで構成している。 ○昨年度に引き続き、福祉分野の地域課題を解決しようとする取り組みを募集・サポートし、第２部会と協働することで効果が高まるような提案型協働事業を募集することとした。 ○福祉関連施設への募集チラシ配布や区だより、区ホームページでの広報を行ったが、感染症の影響により、応募がなく、募集期間の延長や再周知、感染症に特化したチラシの追加などの対応を実施した。そのおかげで、最終的には、合計３件の応募があり、事業をサポートすることができた。 ○支援については、各事業実施にあたり、地域や事業者とのつながりの創出や感染症対策など、各団体が手の届きづらい部分へのサポートを行い、協働することができた。いずれの事業においても、当日部会員が参加し、主催者と参加者の両者の充実した様子が確認できた。 ○ある主催者からは、事業実施にあたり、部会による支援を受けたことで、現在も事業を継続できているといった声を頂いており、本支援をきっかけに、自立した活動につながったケースがあったことは評価できる。 ○区の取り組みへの支援としては、「自治会長・町内会長　感謝の集い」の講演テーマ及び講師選定への助言やアンケート項目の検討など、区が実施する事業のサポートを行うことで、事業効果を高めることができた。